

1 「SNS に写真を載せる意義」発表者 安田由美

・写真を付けて投稿する方が「いいね」がたくさんつくから、Twitter に自分も写真を載せるな・・・

・SNS を多くやっている今の若い人達は、SNS の中でアイデンティティを確立させようとしている

・「大丈夫？」という言葉を待っているツイートが多い

ネットの人間関係は距離感がわからないから使い方が難しい

ツールによって使い分けている人がいる（ツイッターは自分の本音が出やすい・・・？）

使う人と使わない人の違いは？

SNS を全く使わない人はなぜ使わないのか

投稿することが何もない

情報を得るツールとしてはとても良い

うまく活用して、振り回されないことが大事なのは

使い方そのものにその人らしさが出てくるのではないか

人は人と比較をする（社会比較理論）→自己評価につながる

上方比較と下方比較（自分と上の人を比較するか、自分と下の人を比較するか）

日本人にとって SNS は・・・

本音と建て前

SNS の中にも建て前がある

SNS を使えば使うほど、自分の価値が下がっていく→SNS ユーザーはうつになる人が多い

2 「～第一印象を検索してわかったこと～コミュニケーションにおける非言語的コミュニケーションの及ぼす影響」発表者 小池千咲

・もはや第一印象の話は確立してきている

・人は見た目が 9 割なのか、余計に最初から悪く思われないように、見た目を正すことが大事なのでは

・第一印象の中に見た目も入っているのであれば、見た目も考えていく必要があるのでは

・じゃあ書類審査はなぜあるのか・・・！？

・自分としてどう思うか、保健師としてはどうするべきか、違ってもエキスパート保健師として対応すべき

・仕事で笑顔を作らなければならない

- ・保健師らしい保健師か、その人らしい保健師か、どちらがいいかはその人次第。

3 「世界の手話」 発表者 石川りさ子

- ・手話の言語にも文化的背景が現れる
- ・手話の定義に表情が入っている
- ・アメリカにはろう話者の大学がある
- ・ろうの方たちの第一言語は日本語じゃなくて、手話である。
- ・手話には敬語があるのか
- ・言語は文化 言葉が違うだけじゃなくて、文化が違うと考えなきゃいけない。

4 「オンライン上のセルフヘルプグループのミニ調査と考察」 発表者 亀山未来

- ・サイトよりも SNS をうまく使って情報を得ている人が多いのではないか
- ・ダイエットのグループは、肥満の人がうまく活用できるのであれば、生活習慣予防としてうまく使えるけれども、逆に考えるとやせ願望を助長させるのではないか
- ・オンライン上のサポートグループ
- ・ネットには逃げ道がある、人間関係をその後も続けなくていい
- ・サポートとストレスはセット